



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

日本の英語教育の現在地。学習指導要領から読み解く英語力を伸ばす授業とは？

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式HPに特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 よく読まれている記事！ /

1 2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
91594Views
OTEMON VIEW編集部

2 2022.10.07 社会と暮らし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
60336Views
OTEMON VIEW編集部

3 2021.03.05 社会と暮らし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
33430Views
OTEMON VIEW編集部

4 2020.08.24 ところから
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について
28294Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

文部科学省は2020年度からすべての小学校で英語を必修化。それを踏まえ、中・高等学校の英語教育では生徒が英語で意見を伝える「言語活動」の充実が必須であることを、新学習指導要領で掲げました。近年の初等中等教育段階での英語教育はどう変化しているのでしょうか。今回は、大阪府の教育行政に17年間携わり、現在は小学校から大学までの英語教育における指導の在り方を研究する国際学部 蛭田勲 教授による解説です。

(以下は主なポイント)

新学習指導要領で英語教育はどう変わったのか？

- キーワードは「主体的・対話的で深い学び」
- ねらいは「思考力」の育成。探究学習にも通じる目的
- 全国学力調査で明らかになった「即興的思考力」の必要性

英語教育はティーチングからコーチングへ

- 「CAN-DOリスト」で変わる中学・高校の英語教育
- 大阪府立北野高等学校の先進的な取り組み

英語教員、そして保護者に伝えたいメッセージ

- 大学受験英語はゴールにあらず。子どもたちの心に火をつけよう

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/3275/>

日本の英語教育の現在地。学習指導要領から読み解く英語力を伸ばす授業とは？



記事イメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 仲西・織田